



4th Dimension バージョン 2003.1 へようこそ。本ドキュメントは、4th Dimension プロダクトラインの最新バージョンにおける新機能および変更点について説明します。

互換性

日本語版のバージョン番号について：バージョン 2003 世代の日本語版は 2003.1 からになります。バージョン 2003 日本語版は開発・出荷されていません。

4th Dimension

バージョン 2003 の 4th Dimension を使用して作成、または開かれた 4th Dimension データベースは、バージョン 2003.1 の 4th Dimension と完全に互換します（ストラクチャファイルおよびデータファイル）。

また、4th Dimension 2003.1 で開かれたデータベースは、4th Dimension 2003 で再び開くことができます。

4D Insider

4th Dimension とは異なり、4D Insider 2003 では 4th Dimension 2003.1 または 4D Insider 2003.1 で開かれたデータベースを再び開くことができません。これは、ライブラリに関しても同様です。

バージョン 2003.1 では、データベースやライブラリが開かれると自動的に各要素の“変換”が実行され、メッセージは表示されないという点に注意が必要です。

注：これと同様に 4D Insider 2003.1 で生成されたコンポーネントは、4D Insider 2003 を使用してインストールすることはできません。

プラグイン

バージョン 2003.1 の 4th Dimension プロダクトラインのアプリケーションには構造上の変更が加えられたため、お使いのプラグインをバージョン 2003.1 へアップグレードされることを強くお勧めします。

新しい 4D アプリケーション保護システム

4th Dimension 2003.1 アプリケーションは、新しいハッキング対策システムを活用しています。関連するアプリケーションは、4th Dimension、4D Server、および 4D Runtime Classic です。

注：Education ならびに OEM 版には、この新しい保護システムが採用されていません。

この新しいシステムは、サブネットを介したシリアル番号の検証をもとにしています。シリアル番号付けされた 4D アプリケーションが起動すると、4D はネットワーク上を調べ、同じシリアル番号を持つ 4D アプリケーションが実行されていないかどうかを探します。

同一番号が検出されると、4D を起動しようとするマシン上に警告メッセージが表示され、デモモードに移行します。警告メッセージにより、同じシリアル番号を持つ他の 4D 製品が既に実行中であることが示され、問題のマシンの名前が提示されます。この場合、これら 2 台のマシンのいずれかのシリアル番号をアンインストールしなくてはなりません。

この保護システムは、使用するすべてのシリアル番号をすべてのマシンへインストールした場合に、お使いのアプリケーションが開かれないようにすることができるという点に留意してください。実際、起動時に 4th Dimension は発見した最初の番号を調べます。他のマシン上で同じ番号が検出されると、それ以外のシリアル番号を利用できる場合でもアプリケーションは起動しません。

この場合、不要なシリアル番号を各コンピュータからアンインストールし、マシンごとに 1 つの番号だけを保持するようにしなくてはなりません。

最適化

Mac OS X 上での長いドキュメント名

Mac OS X との互換性を更に向上するため、大半の 4th Dimension ドキュメント管理コマンドは、このプラットフォーム上で 255 桁までのドキュメント名を受け入れるようになります。

相対パス名において、255桁までのフォルダ名やボリューム名も受け入れられます。

注：Mac OS 9上では、31桁の制限が維持されます。

次の4th Dimension 2003.1 コマンドは、Mac OS X上での長いドキュメント名を受け入れません。

Create document
Append document
Open document
SET DOCUMENT CREATOR
Document creator
SET DOCUMENT PROPERTIES
GET DOCUMENT PROPERTIES
SET DOCUMENT TYPE
Document type
GET DOCUMENT ICON
Get document size
Test path name
DOCUMENT LIST
COPY DOCUMENT
MOVE DOCUMENT
DELETE DOCUMENT
CREATE FOLDER
FOLDER LIST
DELETE FOLDER
CREATE ALIAS
RESOLVE ALIAS

注：

- ・パス名の最大サイズは、従来通り 255 桁に制限されています。
- ・パス名を管理する他のコマンドの互換性は、4th Dimension の今後のバージョンで保証される予定です。

Web 文字セット

4th Dimension 2003.1 では、Web 文字セットのサポートが向上しています。

- 「クイックレポート」エディタでは、HTML 形式でのレポート生成の際に、アプリケーションの「環境設定」（「Web / 設定」ページ）で指定された「標準セット」メニューの現在値が考慮されるようになります。

- 同様に、**Mac to ISO** コマンドは、アプリケーションの「環境設定」の「標準セット」メニューに指定された文字セットに変換したテキストを返すようになります。

デフォルトでは、日本語版の4th Dimensionにおいて、"Shift_JIS (Japanese)"文字セットが使用されます。

